

2. 組み立て方法

(1) 播種機の組み立て前に準備する物

機械・部品	備 考
トラクタ	所要馬力は、代かきハローのサイズに応じて設定（「Ⅱ大豆-1 技術の内容」の表Ⅱ-11 (P21) 参照）。
ドライブハロー	ホルダー型かつ一本物に限る（「Ⅱ大豆-1 技術の内容」の表Ⅱ-1 (P5) 参照）。
播種機装着用 アタッチメント	作業機取付バー（①のタイプ（P13 参照）、純正品）、嵩上げ用に改良した角バー取付用プレート（播種ユニット装着用）、ブラケット装着用角バー、播種機装着用ブラケット、播種ユニット装着用角バー（「Ⅲ麦類-2 組み立て方法 (P57-58)」参照）。
排土板付き畦間 サブソイラ	角バー取付用プレート（畦間サブソイラユニット装着用）、畦間サブソイラユニット装着用角バー、排土板付き畦間サブソイラ、サブソイラ装着用ホルダ（「Ⅲ麦類-2 組み立て方法 (P59)」参照）。
播種ユニット	ロール式播種機：施肥・播種ユニット（条数分） もしくは 播種・施肥用駆動輪（1～2本） 目皿式播種機：播種ユニット（条数分） 施肥ユニット（同時施肥する場合は装着、 ただし施肥用駆動輪も必要）
	※1 なたね等小粒種子の場合は、ロールの改良が必要です ※2 接地駆動輪は畦立て仕様に改良が必要な場合あり ※3 「Ⅱ大豆-1 技術の内容」の図Ⅱ-30、31 (P18) 参照。
	電動コントローラ（なたね等小粒種子仕様）

(2) 組み立て手順（基本仕様）

（ここでの前提条件）

- なたね等小粒種子対応の仕様とします。
- トラクタは 34PS セミクローラ方式、代かきハローは M 社製耕幅 260cm の機種を使用します。
- 畦間 130cm、1 畦 3 条播き（条間 30cm）、2 畦播きとします。
- ロータリカバーは外さず、つり上げにより対応します。
- 播種ユニットは小粒種子対応の改良型ロール式播種ユニットを利用します。
- 小粒種子対応のため電動コントローラを装着します。

組み立てや調整に関しては、岩手農研の HP に動画マニュアルをアップしているので参考にして下さい。

組み立て編

ステップ1

均平板の取り外し作業

※ 大豆の作業に準じて下さい

ステップ2

爪配列の並べ替え作業

※ 大豆の作業に準じて下さい
配列方法は『1 技術の内容』を参照して下さい



ステップ3

<http://www.youtube.com/watch?v=vb49RkxYLes>

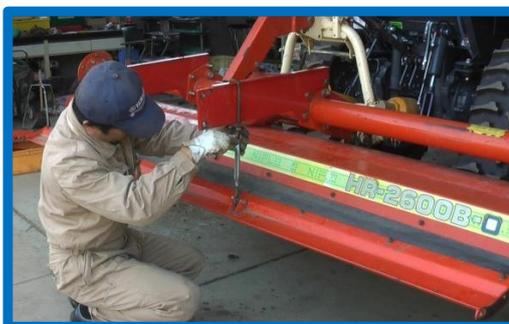
作業機取付バーの装着作業



作業機取付バーの装着作業

作業時間：約5分

ロータリカバーのつり上げ作業
(改良型ターンバックルを用いてつり上げをする場合は、大豆の組み立て編 (P31) に準じますが、作業段階としてはステップ1のところを実施して下さい)



ロータリカバーのつり上げ作業

作業時間：約5分



ロータリカバーをつり上げた状態



動画あり

ステップ4

http://www.youtube.com/watch?v=ED_J0vuHYhM

角バー取付用プレート（2種類）の装着作業



角バー取付用プレート装着作業

作業時間：約3分



作業機取付バーを挟み込んで装着します

ステップ5

角バー（2種類）の装着作業



畦間サブソイラユニット装着用



播種ユニット装着用

角バーの装着作業（どちらが先でもかまいません）

作業時間：約5分

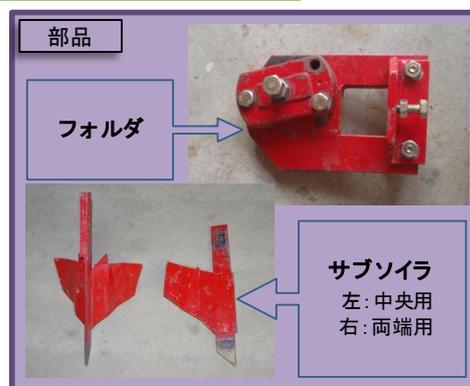
ステップ6

排土板付き畦間サブソイラユニットの装着作業



畦間サブソイラ装着作業

作業時間：約5分



ステップ7

播種ユニットの装着作業



播種機本体フレームの装着

播種機の追加装着

播種機本体の装着（☞取り付けやすさを考慮して工夫して下さい）

作業時間：約10分



<http://www.youtube.com/watch?v=L7Zq0r7V0kU>

電動コントローラの装着作業



電動コントローラ（モータ）の装着

関連配線作業など

電動コントローラの装着作業（小粒種子用）

作業時間：約5分



播種ロッドの装着作業

作業時間：約3分



完成！



延長部分

☞ 電動コントローラを装着しない場合は、接地駆動輪での対応となりますが、この場合は播種量の微調整は困難です。また、畦立て仕様にするためには、左のような接地駆動輪のロッド延長が必要です。

播種前準備編



動画あり

http://www.youtube.com/watch?v=KY81_PbWjDo

電動コントローラの動作確認・播種量調整作業

電動コントローラの作動確認

時間当たり吐出量の計測

計量

畦立て性能等の確認・調整



動画あり

<http://www.youtube.com/watch?v=Ab6mrmeaRzM>

テスト走行

畦高さやサブソイラ作用深のチェック

排土板付き畦間サブソイラの排土状況確認

☞ 播種機の調整作業(播種深さ、播種機の角度)については、大豆に準じて行って下さい。※プラケットが2個着いている場合は、調整量が同じになるように気をつけて下さい。